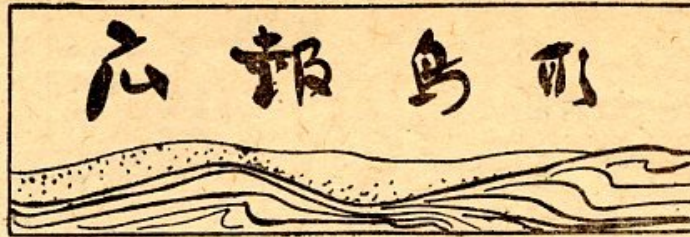


市の財政はこうなっている

34.1.1~34.6.30 概況報告書



発行所 鳥 取 市 役 所
鳥取市尚徳町 代表電話4,111番
編集兼 鳥 取 市 総 務 課
発行所 尚 文 館 印 刷 所
鳥取市藪片原町21 電話2,639番

昭和33年度会計別決算見込額一覽表 (単位千円)

会計別	歳入	歳出	差引	支払繰延	未収財源	実収支差額
一 一般会計	663,790	663,790	0	1,832	3,080	1,248
二 特別会計	11,122	9,152	1,970			1,970
三 国庫支出金	22,914	22,914	0	20,080	20,080	0
四 地方交付税	1,104	943	161			161
五 国庫補助金	2,068	2,068	0			0
六 地方債	58,799	58,603	196	6,148		5,952
七 雑入	67,652	107,353	△39,701	324		△40,025
計	827,524	864,898	△37,374	28,384	23,160	△42,598

今回は昭和33年度の決算状況と、昭和34年度の前算内容、執行状況について申上げ、市民皆さんの御協力を得たいと思っております。

本市の財政事情は、昭和26年度までは実質的に一定の取支のつりあいを保ち、財政運営の健全性が保たれてきたのですが、たまたま昭和27年4月17日に発生したあの未曾有の大火で、約二百億円という損害をうけ、この災害復興事業、新都市建設のための事業費の増大などで、三億二千万円という膨大な額の赤字を生じました。

しかし、やむを得ず地方財源を伸ばし、

苦しい33年度決算 税収不足で支払繰延

赤字解消まであとしばらく

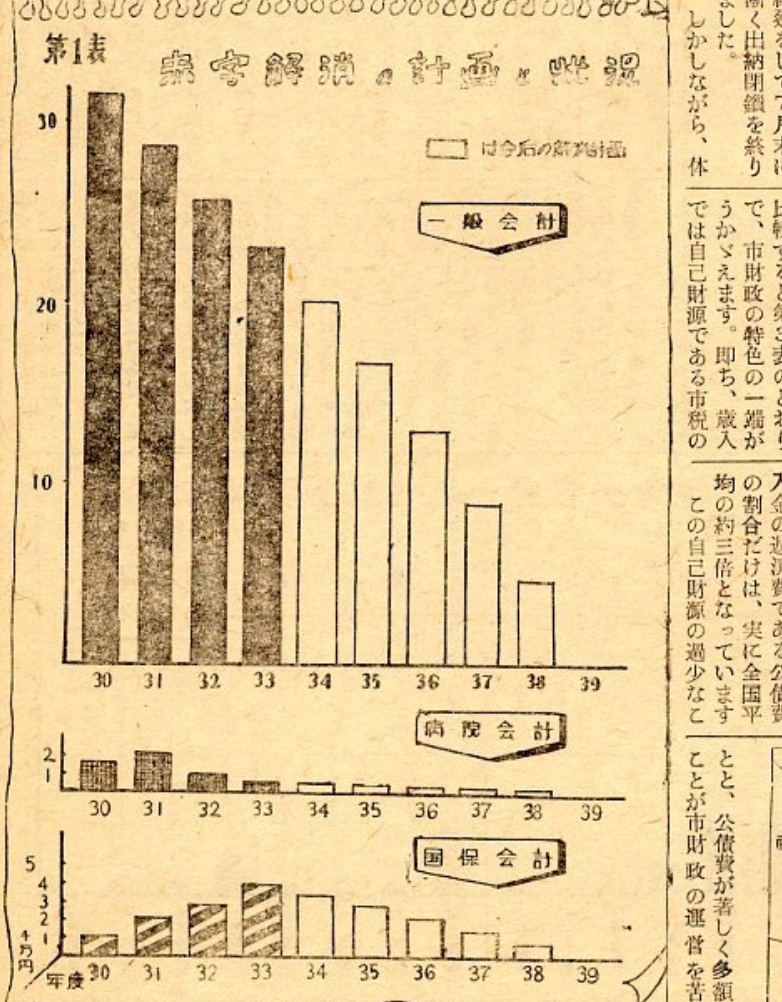
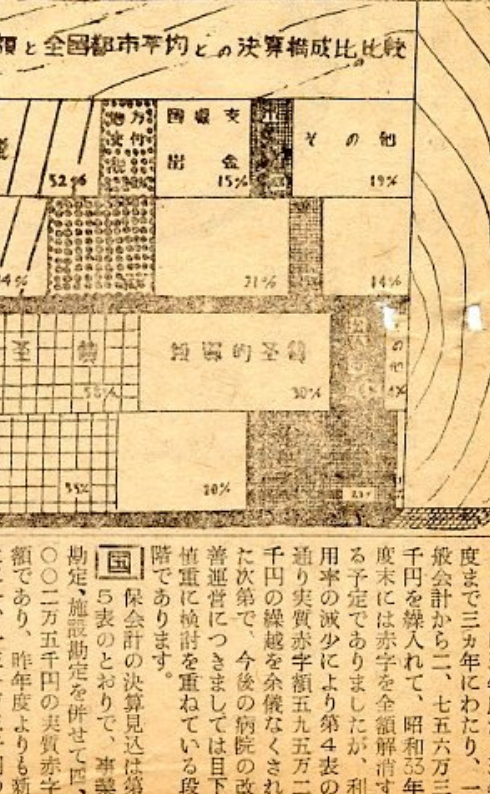
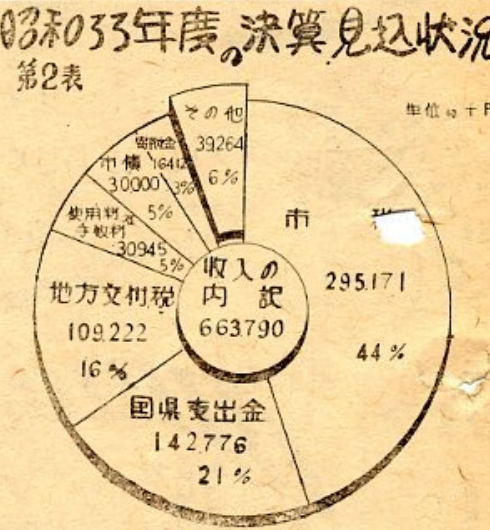
鳥取市告示第七八号
鳥取市財政概況報告書作成及び公表に関する条例に基づき、昭和34年1月1日から6月30日までの財政事情を公表いたします。

昭和34年8月1日

鳥取市長 高田 勇

次に特別会計ですが、このうち国庫会計に四、〇〇二万五千円、病院会計に五九万二千円の実質赤字が累積しており、このままでは今後の財政運営が苦慮される現状であります。

このように、一般会計、特別会計を通じ、33年度末の本市の財政事情は大変悪く、このような状態を繰り返しては、市勢の発展などは到底望めません。今後何故かのようにになったのか、財政構造を詳細に分析、調査、検討して、その原因を探究するとともに、早急に財政健全化の対策を樹てる必要があります。



昭和33年度決算の見込

少ない自己財源と多い公債費

これは先に概要を説明申し上げた通りで、第2表はこれを図示しました。また決算見込額的主要科目については、それらの割合を十都市の全国平均と比較すると第3表のとおりで、市財政の特色の一端がうかがえます。即ち、歳入の自己財源の減少と、公債費が著しく多額なことが市財政の運営を苦しめていく要因であります。

(第4表) 昭和33年度市民病院費決算見込額 (単位千円)

区分	予算額		決算見込額		増減額
	歳入	歳出	歳入	歳出	
歳入	47,987	9,220	46,933	9,220	△1,054
歳出	2,692	2,646	2,646	2,646	△46
計	59,899	58,799	58,799	58,799	△1,100

(第5表) 昭和33年度国民健康保険費決算見込額 (単位千円)

科目	歳入		歳出		差引
	金額	金額	金額	金額	
事業所定	31,878	28,157	8,353	52,200	
国庫補助	1,000	1,000	2,733	2,733	
繰越金	636	0	1,000	3,642	
計	61,671	61,671	12,086	62,575	△29,393

市 特別会計

特別会計のうち、基本財産、土地区画整理に減額を要するものは、昭和33年度に、〇〇〇〇万円に増額して、一般財源の不足を補うことにより、再建計画を樹立しました。

国 特別会計

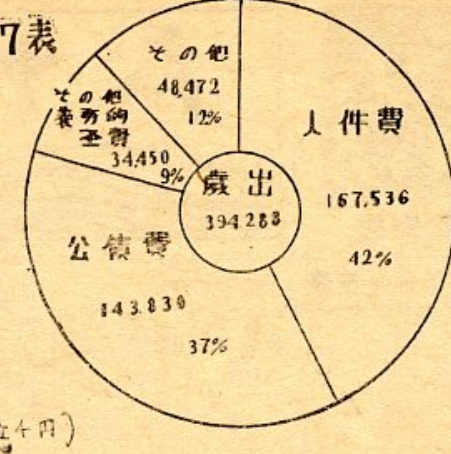
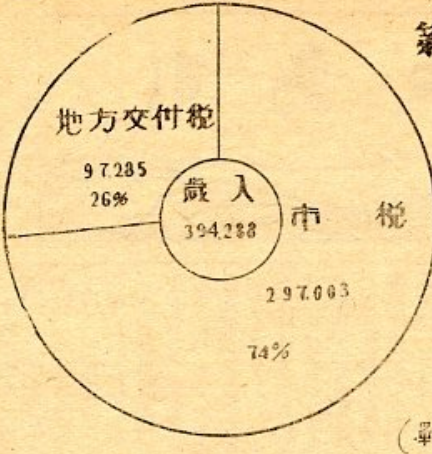
国民健康保険費は、昭和33年度に、〇〇〇〇万円を予定いたしまして、昭和34年度へ支払繰延を行いました。

第6表 昭和34年度一般会計予算 (単位千円)

科目	歳入		歳出	
	当予算額	追加更正予算額	現予算額	構成率%
市地方交付税	297,003		297,003	53.17
市地方交付税	97,285		97,285	17.51
市地方交付税	1,275		1,275	0.23
市地方交付税	5,696		5,696	1.04
市地方交付税	30,198		30,198	5.53
市地方交付税	109,459		109,459	20.14
市地方交付税	6,139		6,139	1.13
市地方交付税	911		911	0.17
市地方交付税	1,607		1,607	0.29
市地方交付税	10,718	28	10,746	1.97
市地方交付税	3,000		3,000	0.55
計	563,292	28	563,320	100.00

第7表 昭和34年度一般会計執行状況 (単位千円)

科目	歳入		歳出	
	当予算額	追加更正予算額	現予算額	構成率%
市地方交付税	297,003		297,003	53.17
市地方交付税	97,285		97,285	17.51
市地方交付税	1,275		1,275	0.23
市地方交付税	5,696		5,696	1.04
市地方交付税	30,198		30,198	5.53
市地方交付税	109,459		109,459	20.14
市地方交付税	6,139		6,139	1.13
市地方交付税	911		911	0.17
市地方交付税	1,607		1,607	0.29
市地方交付税	10,718	28	10,746	1.97
市地方交付税	3,000		3,000	0.55
計	563,292	28	563,320	100.00



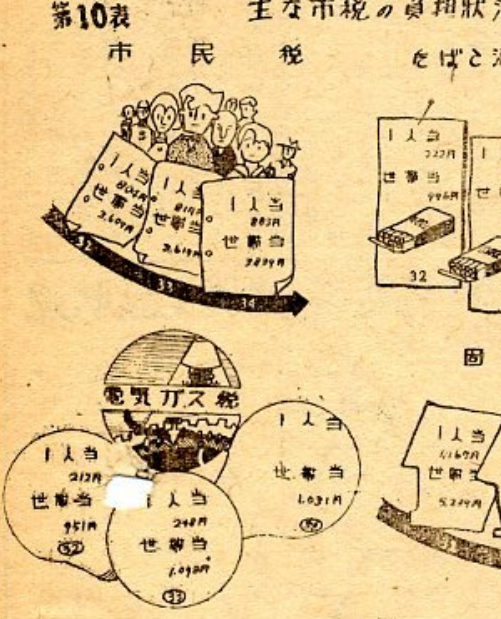
昭和34年度純市費の使用状況

第8表 昭和34年度特別会計予算及執行状況 (単位千円)

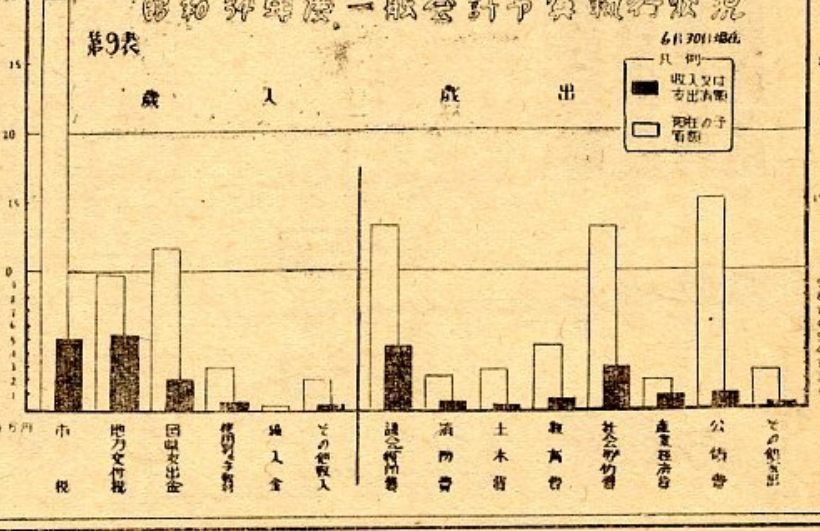
会計別	予算		執行		B/A	C/A
	当予算額	追加更正予算額	収入額	支出額		
基本財産費	79		79	4	5	5
土地地区画整理費	16,467		16,467	4,454	27	10
中央公民館等施設費	20,080		20,080	0	0	0
屠場費	796		796	376	47	47
簡易水道事業費	1,464		1,464	12	1	1
市民病院費	50,395		50,395	3,244	6	6
国民健康保険費	84,305	42,879	127,184	8,932	7	38
計	173,586	42,879	216,465	17,022	58	753

●一般会計
 昭和34年度の予算は第6表のとおりで、予算編成に当りましては、就任後間もなかつたので詳細に検討することができず、一応骨格予算を編成いたしました。

●特別会計
 昭和34年度の特別会計の執行状況を第8表のとおりであります。このうち、国民健康保険費は、前年度に比べて、42,879千円増加しております。これは、国民健康保険法の改正による増収が主原因と見られます。



予算の執行状況
 昭和34年度の6月末日現在の予算の執行状況は、歳入総額一億三、四四〇万五千円、歳出総額一億一、二五三万七千円、その内容は第9表のとおりです。



市税の徴収状況
 市税の重要性については、おなじみですが、昭和34年度の徴収状況は、前年度に比べて、歳入総額一億三、四四〇万五千円、歳出総額一億一、二五三万七千円、その内容は第9表のとおりです。

市税の徴収状況
 市税の重要性については、おなじみですが、昭和34年度の徴収状況は、前年度に比べて、歳入総額一億三、四四〇万五千円、歳出総額一億一、二五三万七千円、その内容は第9表のとおりです。

第11表 市税徴収状況調

税目	昭和31年度(決算)		昭和32年度(決算)		昭和33年度(決算見込)		昭和34年度(6月末現在)		
	調定額	収入済額%	調定額	収入済額%	調定額	収入済額%	調定額	収入済額%	
市税	111,317	87.140	78,116,479	92.511	79,127,061	100.259	79,96,540	8,788	9
民定資産税	147,623	109,506	74,167,154	126,655	76,175,993	134,324	76,157,437	27,067	21
固定資産税	23,546	23,546	23,578	23,578	30,462	30,462	8,034	8,034	100
市税	23,314	23,314	25,063	25,063	25,913	25,913	7,046	5,760	82
市税	15,636	9,406	13,924	7,986	10,295	4,213	2,750	1,080	39
計	321,436	252,912	79,346,198	275,793	80,369,724	295,171	80,251,807	50,729	21

第12表 財産明細書 昭和34年6月30日現在

種別	目的別	土地	家屋	有価証券	預金
基本財産		2,238畝29		2,760	1,308,495
行政財産	庁舎	46,115坪05	6,690坪73		
教育財産	小学校	52,025坪50	19,220坪		5,440
普通財産	田山原宅砂	546畝09	13,094畝17		
	畑林野地丘	13,094畝17	609畝06		
	沼池	23,975坪68	1,166,810坪		
	池藁	162畝07	11,372坪		
	有積	84畝17			
	の証立			8,203,000	
					174,407

財産・公債
 昭和34年6月30日現在の財産、公債、一時借入金は、前年度に比べて、歳入総額一億三、四四〇万五千円、歳出総額一億一、二五三万七千円、その内容は第9表のとおりです。

財産・公債
 昭和34年6月30日現在の財産、公債、一時借入金は、前年度に比べて、歳入総額一億三、四四〇万五千円、歳出総額一億一、二五三万七千円、その内容は第9表のとおりです。